

福井県中学校教育研究会

令和7年度 研究の基本方針

1 目 標

複雑で予測困難な時代の中で、生徒が夢や希望を実現し、地域の担い手となるためには、一人一人が個性を発揮し、自らの可能性に挑戦し、多様な人々と協働しながら乗り越えていく力が必要とされている。そのために、各教科・領域における自主的・創造的な実践研究を行う中で、個性を伸ばす教育や、学びを自ら進めていく教育を推進し、「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり」を目指していく。

2 研究主題

生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、学びを人生や社会に生かそうとする生徒を育てる教育活動の在り方

3 研究推進の方針

- (1) 「社会に開かれた教育課程」を実現するために、各学校、各教科・領域でどのような資質・能力を育成するのかを明確にし、社会や地域と共有して育成することを推進する。
- (2) 学校教育目標達成に向けた、教育内容の質の向上を目指すために、カリキュラム・マネジメントの推進に努める。
- (3) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る。
- (4) 多様な人々と様々な言語活動や体験活動等を取り入れ、協働して新たな価値を生み出す資質・能力の育成に努める。
- (5) 主体的・対話的で深い学びが実現する授業研究を進めるとともに、生徒の主体性を大切にした「引き出す教育」、「楽しむ教育」を推進する。
- (6) タブレット端末等のICTを活用した授業実践を推進する。
- (7) 評価を意識して単元を通じた授業づくりを進め、指導と評価の一体化を図る。